

研修生等の受入に係る健康診断（胸部エックス線検査）の受診及び
ワクチン接種等の運用について

令和元年12月18日
最終改正 令和2年10月1日
金沢大学附属病院

本院では、職員自らが感染症に罹患すること及び患者や他職員への感染源になることを予防し業務を円滑に遂行するため、感染予防に有効な感染症を対象とした必要な抗体検査及びワクチン接種の徹底を行っております。

感染予防対策は、患者や本院職員と接する機会を有する研修生等に対しても必要となりますので、本院での研修等を希望する場合は、以下Ⅰ～Ⅳの全ての要件を満たすよう、研修等の申請前までに確認・対応を実施し、別紙様式1「健康調査票」を提出してください。

ただし、医療機関に勤務する者においては、当該医療機関で実施されている感染予防策に準じ、受入れを行うこととしますので、別紙様式2「院内感染予防対策に係る申出書」を提出してください。

なお、経過措置として令和2年度に実施する研修等については、従前のおりとします。

- I. 4種ウイルス感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）について、次のいずれか一つを満たすこと。
 - (ア) 血清IgG抗体が陽性（基準を満たす）であること（検査方法はEIA法を推奨）。
 - (イ) 1歳以降に28日間以上間隔をあけて2回以上ワクチンを接種していること。
 - (ウ) 血清IgG抗体が陽性（基準を満たさない）と判定された後、ワクチンを1回接種していること。
 - (エ) 罹患したことがウイルス学的に証明（PCR・ウイルス培養など；臨床診断は不可）できていること。※陽性の基準は、別表のとおりとする。

- II. B型肝炎については、次のいずれか一つを満たすこと。
 - (ア) 抗HBs抗体価が10mIU/ml（EIA, CLIA又はRIA法）以上であること。
 - (イ) B型肝炎ワクチンを3回（2回目接種は1回目接種の4週目以降、3回目接種は1回目接種の24週以降）以上接種していること。※陽性の基準は、別表のとおりとする。

III. 胸部X線検査

研修等の開始前1年以内に1回の胸部X線検査を受けること。

※なお、検査の結果、異常が指摘された場合は、研修等の参加について医師の意見を付した診断書を提出すること。

- IV. インフルエンザワクチン接種（流行期である11月から3月に実施する研修等のみ）
研修等の開始年度中に1回のワクチン接種を受けること。

※ ワクチン接種禁忌の方は、個別に判断を行いますので、別紙様式3「ワクチン未接種理由書」を提出してください。

別表

疾患	検査方法	基準	
		陽性（基準を満たす）	陽性（基準を満たさない）
麻疹	EIA法（IgG）〔推奨〕	16.0以上	2.0～15.9
	PA法	256倍以上	16倍, 32倍, 64倍, 128倍
	中和法	8倍以上	4倍
風疹	EIA法（IgG）〔推奨〕	8.0以上	2.0～7.9
	HI法	32倍以上	8倍, 16倍
水痘	EIA法（IgG）〔推奨〕	4.0以上	2.0～3.9
	IAHA法	4倍以上	2倍
	中和法	4倍以上	2倍
	抗原皮内試験	陽性（5mm以上）	
流行性耳下腺炎（ムンプス）	EIA法（IgG）〔推奨〕	4.0以上	2.0～3.9
B型肝炎	抗HBs抗体	10mIU/ml以上	
備考 参考：日本環境感染学会 医療関係者のためのワクチンガイドライン 第3版			